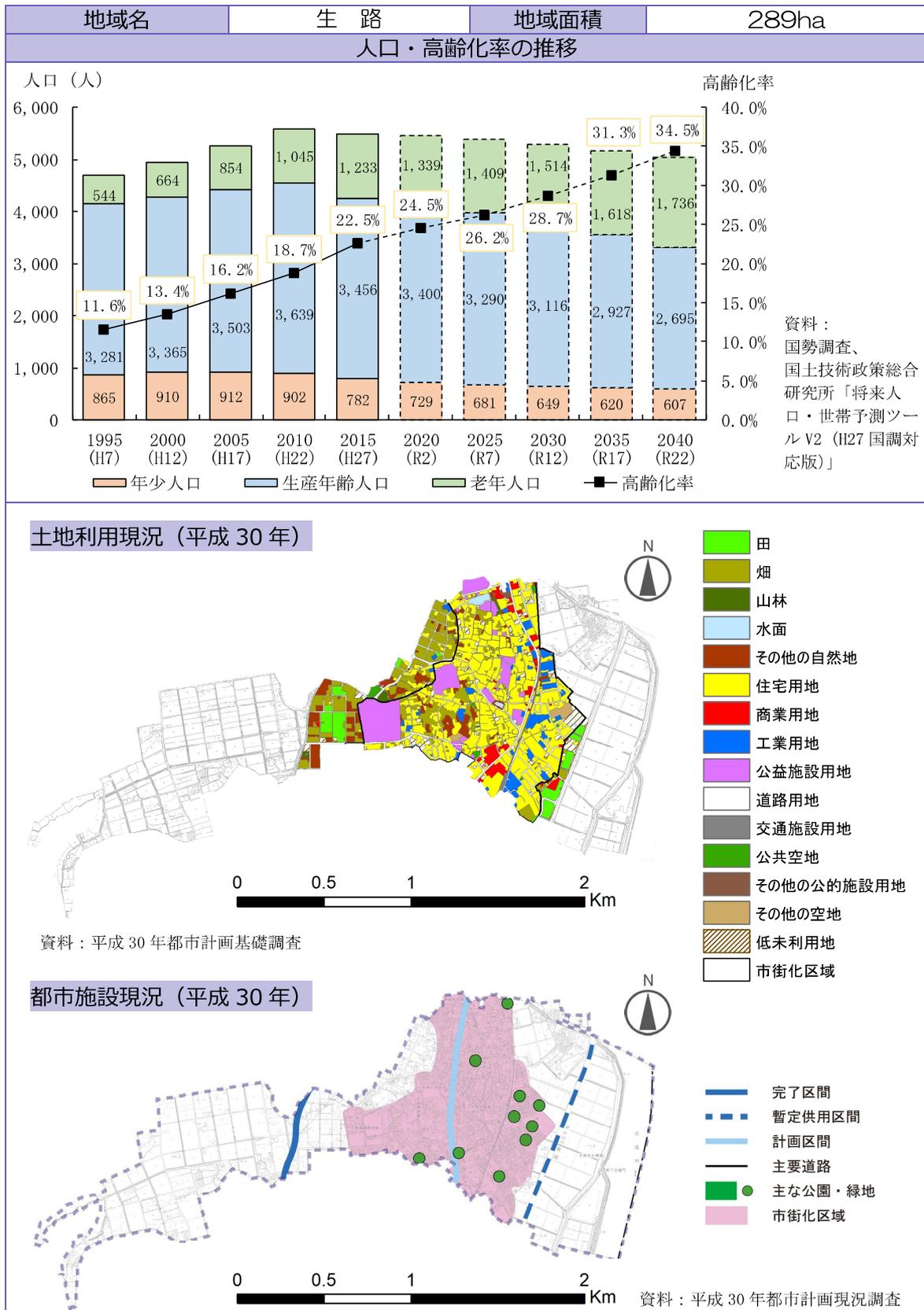


5-6 地域別構想（生路地域）

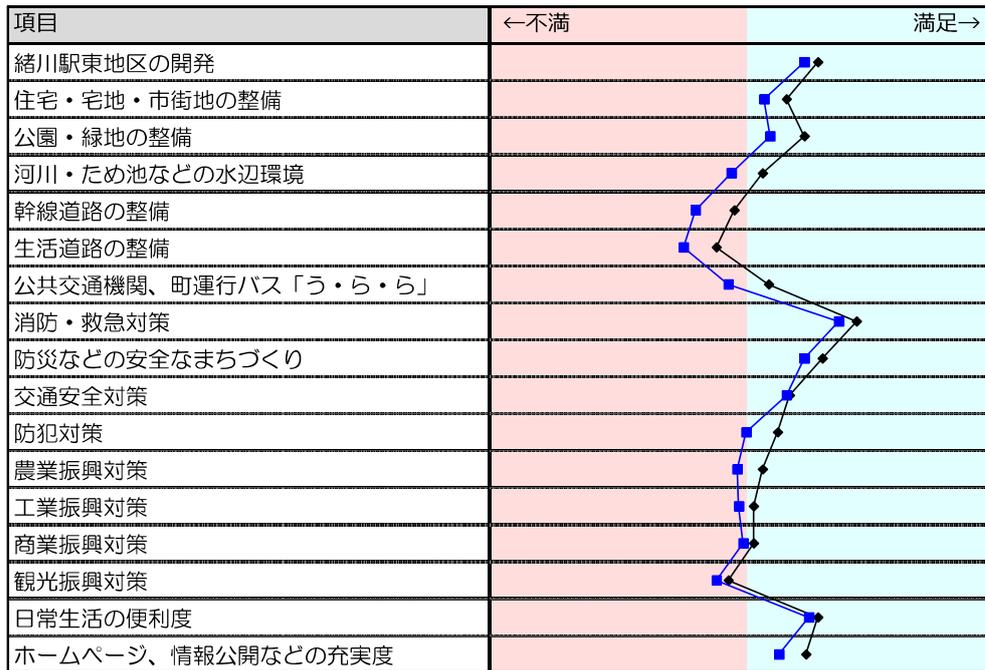
1. 地域の現況



住民意識

住民意識調査

■暮らしの満足度



—：町全体 —：生路地域

○全体的に町全体と比べて暮らしの満足度が低く、特に「生活道路の整備」「幹線道路の整備」「河川・ため池などの水辺環境」「公共交通機関、町運行バス「う・ら・ら」」などが低い。
○「観光振興の対策」は町全体と同様に満足度が低い。

■今後のまちづくりの重要度

■：重要度が高い

項目	町全体		生路地域	
	割合	項目内の順位	割合	項目内の順位
緒川駅東地区の開発	1.7%	15	0.5%	17
住宅・宅地・市街地の整備	6.3%	7	5.8%	8
公園・緑地の整備	4.1%	9	6.8%	7
河川・ため池などの水辺環境	3.4%	11	3.7%	11
幹線道路の整備	10.4%	4	9.4%	5
生活道路の整備	10.0%	5	12.0%	2
公共交通機関、町運行バス「う・ら・ら」	9.0%	6	10.0%	4
消防・救急対策	2.7%	12	3.1%	12
防災などの安全なまちづくり	11.6%	3	8.9%	6
交通安全対策	4.5%	8	4.2%	9
防犯対策	11.7%	2	12.0%	2
農業振興の対策	1.6%	16	1.1%	15
工業振興の対策	2.0%	14	2.1%	13
商業振興の対策	3.6%	10	4.2%	9
観光振興の対策	2.3%	13	1.6%	14
日常生活の便利度	14.5%	1	13.6%	1
ホームページ、情報公開などの充実	0.8%	17	1.1%	15

○今後のまちづくりの重要度は「生活道路の整備」が町全体より高く、「日常生活の便利度」「生活道路の整備」なども併せて求められている。

2. 課題の抽出

	現 況	課 題
土地利用・市街地整備	○浜田地区の土地区画整理事業の実施区域を除く住宅地は、狭い道路が複雑に入り組んだ住宅地となっている。	□住宅地における防災性の向上を図るため整備・改善が必要である。
	○空き家・空き地が存在している。	□空き家・空き地の有効活用が必要である。
	○浜田地区の土地区画整理事業の実施区域や民間宅地開発地では、都市基盤が計画的に整備された住宅地を形成している。	□これまでに整備した都市施設の計画的な維持管理が必要である。
	○JR 武豊線以東の住宅地の一部に、住・工が混在する区域が存在する。	□住宅が多く立地する区域であるため、長期的には住宅地としての環境整備を図る必要がある。
	○地域の人口は平成 22 年をピークに平成 27 年から減少局面に入っている。	□人口減少を抑えるため、良好な居住環境の形成を図る必要がある。
	○隣接する地域の JR 東浦駅周辺や国道 366 号沿道には、一部に比較的規模の大きな商業施設の立地がみられる。	□交通結節点や沿道の利便性を活かしていく必要がある。
○地域西側などには農業基盤整備事業を実施している区域が広がっている。	□営農環境や農業生産性の維持を目指し、優良農地の保全を図る必要がある。	
道路・交通	○(都)大府半田線が未整備である。	□(都)大府半田線の整備を促進する必要がある。
	○国道 366 号の交通量が多い。	□交通の円滑化を図ることが必要である。
	○生路小学校や生路コミュニティセンター周辺など市街化区域内においては、狭い道路が複雑に入り組んでいる。	□歩いて暮らせる地域づくりや、子ども・高齢者・障がい者に配慮し、都市基盤の強化や安全に暮らせるまちづくりを進めていくための道路整備が必要である。

	現 況	課 題
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティの形成の場としてのまとまった公園・緑地の整備が求められている。 ○住宅地内において、身近な公園などが立地している。 ○伊久智神社や常照寺などの社寺林が分布している。 	<ul style="list-style-type: none"> □三丁公園を早期に整備する必要がある。 □既存の公園は、住民と協力した維持管理や、安全・安心に配慮した公園としての機能向上を図る必要がある。 □社寺林の緑を保全していく必要がある。
下水道・河川・ため池	<ul style="list-style-type: none"> ○市街化区域内の下水道（汚水）は、未整備の区域が存在するとともに、整備が完了している区域において未接続のところが存在する。 ○大雨などにより浸水が想定される区域が存在する。 ○厄松池や切池などのため池が存在する。 	<ul style="list-style-type: none"> □下水道（汚水）整備の推進を図るとともに、整備済の下水道（汚水）への接続を高め、清潔な生活環境を維持していく必要がある。 □下水道（雨水）の整備による雨水対策を進める必要がある。 □ため池の貯水機能の維持・管理とともに、水害への対策が必要である。
自然環境・景観など	<ul style="list-style-type: none"> ○伊久智神社神楽や町指定の天然記念物である伊久智神社神大楠の森などがある。 ○「郷中のまち並み」を有する明治時代頃からの集落が残されている。 	<ul style="list-style-type: none"> □地域資源としてまちづくりに活用していく必要がある。 □歴史や生活文化、坂道のある細い路地の風情を活かした景観形成が必要である。

3. 地域のまちづくりの目標

地域の特性

- 住宅地は、JR 武豊線、国道 366 号の沿線・沿道を中心に広がっている。
- 国道 366 号と(都)衣浦西部線に挟まれた区域に住宅と工場が混在する地域が存在する。
- (都)山ノ手線以西や、国道 366 号以东には優良農地が広がっている。

地域の主要な課題

- JR 東浦駅周辺を地域の生活の拠点として整備
- 都市基盤の整備を行われていない住宅地における生活道路や歩道の整備により生活環境の改善
- 市街地周辺の農地の保全とともに一部地域における新たな住宅地の確保



都市づくりの目標

- ① 多様な連携による集約型都市構造の充実
- ② 誰もが住みたいと思う快適な生活環境の維持・形成
- ③ 誰もが使いやすく快適な交通体系の整備
- ④ 地域資源を活用した産業の振興
- ⑤ 自然(緑・水)と共生する生活環境づくり
- ⑥ 全ての人々が安全・安心を感じる地域づくり

地域のまちづくりの目標

隣接地域の機能を活かし、快適で利便性の高いまちづくり

安全安心な生活環境の整備によるまちづくり

市街地と緑との共存による良好なまちづくり

4. 土地利用の方針

(1) 住宅地

- 国道 366 号以東の工業地域は、今後の土地利用動向に配慮しつつ、長期的には、地区計画制度の活用や用途地域の見直しも含め、住宅地としての機能の充実を図ります。

(2) 商業・観光交流地

- JR 東浦駅周辺は、本町南部の重要な地域生活拠点として、新たな商業や交流を生み出す施設の立地を誘導し、地域住民の生活に必要な機能が集積した生活利便性の高い地域生活拠点の形成を図ります。
- 国道 366 号沿道は、日常生活に必要な施設立地を図る場としての機能の維持・向上を図ります。

(3) その他の土地利用

- 農業基盤整備事業を実施した区域内は、生産性の高い優良農地として無秩序な宅地化を抑制し、保全を図ります。

5. 道路・交通の方針

- 都市計画道路の整備を進め、円滑で安全な道路環境の形成を図ります。

◎(都)衣浦西部線は、名古屋市を含む周辺都市との広域的な連携を形成する主要幹線道路として整備を促進し、隣接地域の産業活性化拠点への連絡強化を図ります。

◎(都)大府半田線は、周辺都市や町内の連携を形成する都市幹線道路として整備を促進します。また、一部区間において都市計画道路の線形の見直しを検討します。

- 町運行バス「う・ら・ら」は、新規路線や乗継に便利なダイヤの検討及びコンパクトなまちの各拠点を結ぶネットワーク機能を充実させ、更なる利便性の向上を促進します。

6. 公園・緑地の整備方針

- 三丁公園を地区公園として整備するとともに、防災拠点として活用します。
- 伊久智神社などの社寺林の緑は、保全を図り将来へ継承します。

7. 下水道・河川・ため池の整備方針

- 下水道（污水）について、市街化区域においては下水道への接続の向上を図るとともに、適切な維持・管理に努めます。全体計画区域外で下水道（污水）への接続が困難である地域では、個別処理の合併処理浄化槽設置を促進し、環境の整備を図ります。
- 厄松池などのため池は、ため池の持つ貯水機能の維持・管理を図るとともに、整備を要するため池は、水害の発生防止に向けた整備を推進します。また、周辺の景観を活かした親水空間の創出に努めます。

8. 自然環境・景観の方針

- 伊久智神社など様々な史跡や文化財は、地域の貴重な資源として、まちづくりに活用するとともに、将来へ継承します。
- 「郷中のまち並み」を有する明治時代頃からの集落では、建築物や工作物に対するデザインールールの設定などを検討し、良好な景観の保全及び形成に配慮します。

生路地域 まちづくり方針図

